

インターネットモニターアンケート結果

1 回答者

合計 79人

性別 男性31人 女性48人

年代 20代5人 30代17人 40代25人 50代11人 60代9人 70代以上12人

2 紙面で紹介した情報の中で、最も興味を持った記事はどれですか。

1面「未来へつなぐ ふるさとの芸能」	20人
2・3面「心と街のクリーン作戦」	17人
2・3面「インターナショナルセーフスクール」	8人
2・3面「コンクール受賞者発表」	5人
4面「「エデュナビフェイス」(あつぎ駅伝ランナー)	3人
4面「親子のための耳よりインフォ」(元気の源 朝ごはん)	4人
4面「数字で見るあつぎの教育」(元気アップスクール)	10人
興味を持てる記事がなかった	12人

3 今回の教育委員会だより「Edu Navi」について、意見、感想があればお聞かせください。

- ・今回の内容は、世代問わず重要な記事でした。
- ・コンクールの受賞作品を見に行けなかったのが、紙面で見ることができて嬉しかったです。市内のお子さまたちの頑張りが伝わってきました。
- ・次回は、ぜひ我が校区の情報をお願いします。
- ・地道な活動が良く分かった。
- ・学童がない家庭にも関心を喚起するような構成で内容が充実している
- ・学校とか関係ない人たちでも読める特集とかがあると良いと思った。
- ・子供がいない私にとって「教育」は、あまり身近な記事ではありませんが「親子のための耳より info」のような簡単、栄養のある料理は家でも作れるし、子育て中の友人との共通できる話題になると思いました。
- ・少ない紙面を十分に活用すると共に、多くの写真を挿入することによって、読者に興味を抱かせる内容になっていると思います。取材をしている方々の努力が伝わってきます。ISS活動の取り組みが、青少年にまで浸透していることに心強さを感じました。
- ・特になし。
- ・4面構成ですが、内容も豊富で良いと思います。
- ・1～4面まで全て良い内容でした。広報より良いかも…
- ・特にないです。

- ・以前、市内に住む孫がコンクールで受賞して厚木市文化会館に張り出されたのを見に行ったことを思い出しました。
- ・子供たちの様子以外に、教員や教育委員会の職員の講習内容も知りたいです。教員のレベルにとても差があり、教育委員会に伝えても対応に差があり、サービスとしての質が良くないと感じます。具体的に努力されていることを周知されて、不安な気持ちを拭いて欲しいです。児童、生徒の素質はとても良いと思うので、指導者側の状態も広報で知らせて欲しいです。
- ・エデュナビなんて言葉を使わないこと。
- ・コンクールの受賞作品は、毎年楽しみに拝読させてもらっています。いつもその出来栄えには感心させられます。教育上有意な企画ですので、これからもずっと続けて欲しいです。街のクリーン作戦等で社会貢献に取り組む若者達の姿が伝えられていますが、大変頼もしく感じました。これからも是非こうした取り組みは継続して欲しいです。1, 2, 3 面の誌面構成について、いろんな内容を誌面に取り入れようとする意気込みが強過ぎて、少々読みづらく思いました。少しスッキリ感があればもっと良かったですね。
- ・放課後子ども教室の活動ももっと広報活動した方が良いと思います。
- ・その場では読みますが、記憶にのこらない記事かな。と思います。
- ・インターナショナルセーフスクールの取り組みをしている学校があるのは知っていましたが、今回、その具体的な内容を知ることが出来、良かったです。息子の通っている中学校でも取り組みがあると良いと思いました。
- ・ボランティアの人が地域に多いのはいいことだと思う
- ・コンクール受賞者の作品をもっと掲載してあげればよかったですね。
- ・活気の伝わる紙面でした
- ・特にないです。
- ・市の教育委員会が県とどのように連携しているのか、や数年先までのロードマップなどもあればよりどの方向へ向かおうとしているのかが理解できると思います。
- ・若者たちが自ら考え行動するのはとても意義のあることだと思います。
- ・カラフルで紙面は良かったと思います。
- ・分かりやすくてよかったです
- ・親子のための耳よりインフォいつもチェックしています。
- ・ところどころ、受賞ポスターやレシピが掲載されており、肩の凝らない新聞になっていると思います。
- ・記事作りお疲れ様でした。
- ・「厚木市 給食レシピ」で検索しようと思いました。
- ・郷土芸能を継承していく人材を、育てていく大切さを痛感しました。
- ・特になし
- ・紙面が賑やかすぎて、少し見づらく思いました。
- ・学校生活の現状を知るには、この情報は最適である
- ・これからもさまざまな取り組みを期待しています。
- ・朝食メニューが良かったです。朝食は簡単に手早く作れたほうが良いですね。これからもレシピ期待しています！

- ・数字で見るあつぎの教育→ボランティアの多さにびっくりしました。数字で見ると分かり易いですね。
- ・数字で見ると教育に力を入れているのが判るが、実情は成果が上がっているとは言いがたいと思っています。でも、こういう物は、どんどん何回も市民に理解できるまで出してほしい。
- ・特になし
- ・内容が多すぎて読むのが大変と感じました。
- ・図や写真が多く、易しい文章が使われていたので分かりやすかったです。
- ・これからも楽しい情報を発信し続けてください。
- ・子どもに対してこんなに人が関わっていることを知りました。今後少子化になると、子どもに対する人数が増減されるのかと思うと少し心配です。市の収入にもよりますが、雇用の上でも人は減らさずにしてほしい。是非これから育つ子どものために充実した教育を期待したいです。
- ・学校内の事（教師、勉強、いじめ、など）をあまり取り上げていない。学校外の活動も大事だが、大勢の保護者に興味があるのは、子供が安全で安心して、質の高い教育を受けられ、学校内が過ごしやすい環境でいるかだと思う。
- ・特にありません。
- ・別紙になっているのはいいと思います。図書館では常時置いてあるので、気になった時に見ることもできて便利です。
- ・家に子供がいなくて縁遠い内容だったが、今の教育現場でどのような取り組みがなされているのかが分かり、参考になった。
- ・なかなか、自分の子供が通っている学校の情報がないと興味を引くところが少ないですが、次回に期待しております。
- ・小学生、中学生にスポットが当てられている特集が目立ちましたが、この街を背負って将来活躍していく熱気人の原石がきっとこの中にもいるんだろうな、と感じさせるキラキラした記事でした。
- ・2, 3面の記事が、少し見づらい気がしました。インターナショナルセーフスクールの記事はよく見るので、もっと違う記事が見たい。
- ・内容が、類似している気がする。教育については、問題点や課題も多いはずなので、もっとふみこんでも良いのではないだろうか。
- ・特段の意見・感想はありません。
- ・カラーで見やすくいいと思います。元気の源、朝ごはんはいいコーナー。朝ごはんを食べない人が多いと聞いているので毎回、掲載するといいいのでは?と思いました。
- ・ISS（インターナショナルセーフスクール）の取組は、厚木市全部の小学校に広げて欲しいと思います。
- ・厚木の駅伝大会がこんなに歴史があるとは知らなかった。ランナーが色んな想いを持って走っていることを知り、応援しようと思った。
- ・特になし
- ・1つの事に熱心に取り組んでいる人の気持ちや、想いをこの広告から読むことが出来、自分にとっていい刺激となっている。
- ・様々角度で取り上げられており、写真もふんだんに盛り込まれ、どの記事も興味深く読み進め

ることが出来た。

4 1面で郷土芸能普及公演について紹介しましたが、担い手不足に直面する郷土芸能を継承していくには、どのような取組が必要だと思いますか。

- ・若い人に知ってもらふ活動が必要。
- ・参加者に図書カードなどを配布する
- ・やはり、どうしても古い印象があるので、私世代でも興味が持ちにくく、子どもたちはほぼ関心を示しません。もっと現代のお話に近い内容なら見るかもしれません。伝統を守ることと、時代に合わせて変化していくこと、相反することなので、テレビを見ているだけでも、難しいと思いました。お稽古の場面は、なんだか喧嘩をしているようで、ハラハラしました。
- ・昔のイメージが強いので、現代の音楽に合わせるとか、衣装も今風の衣装にするとか、ダンスの授業に取り入れたり、美術や総合の授業にとりくむのはどうでしょうか？どちらにしても、触れ合う機会が少なすぎると思います。
- ・先ほどの伝統芸能継承方法の一つとして、小学生のころから良さを伝えて、継承者を育成する取組みとしてつなげていければ良いと思います。
- ・すぐには思いつかないですが、地域全体で取り組める機会を作るべきだと思います。
- ・広報活動や支援体制の充実。
- ・これという処方箋はないと思いますが、うまくいっている市の取組みをまねるためにも視察を繰り返してトライ&エラーをしていくしかないのではないかと思います。
- ・特になし
- ・学校の部活に採用する
- ・体験がきっかけになるのでは。
- ・体験できるようなイベントを多くやる。地元以外の人たちにも興味をもってもらえるようにする
- ・家にいる時間が多く、仕事以外で何かしたい人もいると思うので、どんな条件の人でどんな時にどのようなことをすればいいのかが細かく募集してくださると応募したいと思います。
- ・厚木市内にある大学も含めてすべての学校で公演会を開いて、経験談なども併せて話を聞ける機会を設けたり、ジャズ以外にもクラシック音楽と組み合わせたり、いろいろいつもと違う楽しみを見てみたいと思います。
- ・宣伝
- ・大切さを伝えていく。
- ・もっと呼びかけたらやりたい人はたくさんいると思う。
- ・広く周知させる事
- ・身近に接することができるような機会をたくさん持つ。
- ・地道な普及公演の継続。「継承者」グループへの新規参加を容易にする（閉鎖的な印象がありません)
- ・分かりません
- ・子どもが体験できるような催しがあると良いと思います。
- ・小学校など小さいうちから慣れ親しませれば良いと思う。

- ・子供の時から実際に見てやってみると興味を持てる子が増えるのではないのでしょうか
- ・市内の園児、児童が、伝統に触れるチャンスを増やし、興味を持つようにする。伝統芸能への入会手続きの紹介を周知する。
- ・魅力を訴えてください。郷土芸能を継承していく意欲をかきたてるように。
- ・郷土芸能の継承は、行政、地域、住民が一体となって、これまでの取り組みを地道にやっていくことが大切ですが、やはり継承していくには行政の更なる理解、意欲等の外に、必要な予算（増額）措置も不可欠と考えられる。
- ・もっと学校での公演を広めて若い中高校生からの伝承をしたら如何でしょうか？
- ・地域での日常のお付き合い
- ・小さい頃から郷土芸能に親しむ環境があれば、身近に感じると共にやってみたい気持ちになりそうです。
- ・もっと気軽に始められたらいいのではと思う
- ・歴史ある物だという事を教えていってあげること
- ・学校の放課後や土曜日に参加出来ればと思います
- ・市で、何かサポートしていったらいいと思います。
- ・厚木市に限らず全国的に難しい課題だと思います。地元で育った子供がその地域の文化を継承していくのが理想だと思いますが、そのためには何世代も住んでももらえるような住みやすさ、生活の実負担が少ない街になれば住んでももらえるのかもしれない。
- ・公民館などで紹介する機会を増やしてほしいです。
- ・郷土芸能を知らない人達がたくさんいるように思います。色々な発表の場がありちょっとした体験の場も増えていけば良いのではと思います
- ・若い人が入りやすいようにアピールしていく
- ・まずは広く多くの方に観て貰う、感じてもらうことが大事だと思う。感銘を受けた人の中から、参加意識も芽生えるのでは。
- ・郷土芸能をまず多くの方に知ってもらうことが大切です。それには催しもの（花火大会やさくらまつりなど）に郷土芸能を出展して理解してもらうことが大切だと思います。
- ・郷土芸能の楽しさを積極的に教えること。実際自分自身よくわからないから。
- ・普及団体が行う活動に常々感謝しています。普及公演は、根強く続けられることを願うばかりです。室内での公演活動も多いと思いますが、野外における活動回数も増やして頂けたら市民に広く理解されるのではと思っています。
- ・特別なことではなく、日常生活に入り込めたらいいのかもしれないと思いました。
- ・公演の回数を増やしてアピールしたら良いと思います。
- ・広報に郷土芸能情報のイベントや体験情報等、都度、告知して貰えたらと思います。また、郷土芸能会場も地域の協力の元、老舗旅館でしてみるとか、いつもと違う場所で行ってみても良いと思った。逆に普段ここでやっているマップがあると身近に感じる
- ・様々な場所で披露して、関心を集めて、担い手を一般公募してみる。
- ・現在、郷土芸能を担っている方々（かなり年長者と思われる）になるべく長く担い手を継続していただき、長い目で伝統芸能の継承・育成を充実させるため行政からの財政的補助も必要となるろう。

- ・郷土芸能の世界を身近に感じられることが大事だと思います。
- ・まずは市民への告知、知ってもらうことだと思います。私はずっと厚木市に住んでいますが、このような内容は知りませんでした。たくさんの人に触れあってもらえるイベントなどもよいと思います。
- ・難しいと思います。実際に触れてみる機会を、たくさん作ることができればよいと思うのですが…
- ・秦野に住んでいる時は、郷土の昔から伝わるお話を、サークルで紙芝居にしていたが、厚木は話が少ないので、郷土芸能は大事にするべきと思う。小中学校や高校・大学での講演はもちろん、アミューの5階の休憩所や地下道で定期的に公演してもらいたい。後は、定年後の暇な人を引っ張り出してほしい。
- ・若い世代の人がお稽古しやすい日時が大事だと思います。
- ・若い世代へ継承する為にサークルや部活動を作る
- ・郷土芸能を子供たちが見る機会を増やして子供たちの中から自分でもやってみたいというモチベーションが上がるようにするのが大事だと思います。小中学校の授業でも見る機会を作るようなことも必要ともいます。
- ・補助金を充分に出し、芸能を専業で行える人材を確保することだと思います。
- ・気軽に無料で体験できるような、公民館などで気軽に軽く習えるような、「郷土芸能！（バーン！）」というハードルを下げてみたらいいと思います。うちの子6歳が、「盆踊りを踊りたい」というのですが私は詳しく知らないし、盆踊りを教えてくれるところもわからないので。同じカテゴリかはわかりませんが、習いたいときにすぐ行けるような場所が一箇所でもあれば、子供の興味が出たときに触れさせて、その後も続いていくこともあるかもしれないので。
- ・伝統を守りながら、時代に合わせて変化させていくことも大切ではないかと思います。
- ・小学校や幼稚園などの公演だけでなく、中高生や社会人にも公演できたら良いと思う。また、公演では是非観るだけでなく、触ったり動いたりして、体験してもらうことが大切だと思います。JAZZ とのコラボのように、吹奏楽部や合唱部や、バンドとコラボして観る人も増えるかと思えます。
- ・中学・高校の部活に、郷土芸能部を設立する。
- ・財政的な支援が必要です。
- ・継承するにあたり、一番の対象となる子供達が興味を持てる環境、状況を作り出すことが一番効果的ではないかと感じています。難しそうでわかりづらそうなものでも、体験してみると「おもしろい」、「やりたい」につながると思うので、お祭りや学校の行事を利用して体験できる環境があるといいと思います。
- ・小中学校の体験学習に取り入れて、興味を持つ子供を増やした方がいいと思う。
- ・若い世代に郷土芸能を伝承していく活動はとても大切だと思いますが、そのためには若い世代に関心を持ってもらわなくてはなりません。既に行われているような公演活動はもちろん大切ですし、地域で活躍したい若者を巻き込むようなイベントも良いかなと思います。（例）若者文化と融合させ、オーディションを行い、優勝者を観光大使に任命するなど
- ・その地域の学校で公演し、教える。
- ・学校で、活動していくことだろうか。

- ・担い手不足は深刻です。本当に継承したい郷土芸能に重点化すべき時期かもしれません。
- ・郷土芸能をたくさんの人に知ってもらうためのイベントを、もっとたくさんやるべきだと思います。
- ・特にない
- ・郷土芸能に触れる機会の魅力を伝えること
- ・イベントを通じて、どういう郷土芸能があるかを発信していくところから実施していく必要があると思います。
- ・①中学校、高校や大学で相模人形芝居を郷土芸能として紹介し、興味ある人を集め、クラブ活動に発展させていけば良いと思います。②60歳以上で定年退職した人を募集してはどうでしょうか？
- ・沢山の人に興味を持たせ郷土芸能に触れさせること。
- ・若い人が魅力を感じるようなアピール
- ・現代の人はSNSが生活の一部となっているため、そこを通じて、目に止まるような工夫をしていくのはどうか。
- ・もっともっと郷土芸能の魅力を知っていただくこと。そのために、学校や様々な施設等で公演の機会を増やす等、まずは興味をもっていただくことが大切だと思う。